第46回コンクリート工学講演会 | A. 材料・施工 | 環境配慮型コンクリート（材料）

環境配慮型コンクリート（材料）3

座長:金子樹(土木),栗原遼大(建築)
2024年6月27日(木) 10:50 ～ 12:15 第2会場 (小展示室B)

[1233]床部材への適用に向けた異種セメントを混合して製造した高炉 A種相当コンクリートの性状に関する実験的研究

長井智哉[1], 右田周平[2], 久須美真悟[2], 中村雄太[1] (1.西松建設 2.戸田建設)

キーワード：環境配慮、高炉セメントA種相当、床部材、長さ変化率、中性化抵抗性、耐摩耗性

地上構造物への環境配慮型コンクリートの普及を目指し，物流倉庫の床スラブで使用される膨張材や収縮低減剤を用いた高炉セメント A種相当コンクリートの諸性状について室内実験を通して確認した。膨張材および収縮低減剤の単体使用または併用に関わらず，普通ポルトランドセメント，高炉セメント B種のみを使用した場合と比べ，フレッシュ性状や強度性状について大きな差はなく，膨張材および収縮低減剤の組合せにより，高炉セメント A種相当コンクリートの乾燥収縮率を低減できることを確認した。さらに，耐摩耗性についてはセメント種類によらず，表面強化剤による補強効果を発揮することを確認した。

©公益社団法人 日本コンクリート工学会